

ICOM

ご使用になる前に

携帯型デジタル簡易無線機 IC-DU45

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書では、注意事項と基本的な取り扱いを記載しています。
本製品の詳細な設定や別売品などについては、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご覧ください。

下記URL、またはQRコードから弊社ホームページ(サポート→法人のお客様→取扱説明書)にアクセスすると、取扱説明書を検索できます。

アイコム株式会社 サポート情報
https://www.icom.co.jp/support/



アイコム、ICOM、ICOMロゴ、ポケットビーブは、アイコム株式会社の登録商標です。
Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。
仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。最新の内容は、弊社ホームページで公開しています。
本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32 A7793H-1J Printed in Japan
202405 © 2024 Icom Inc.

アフターサービスについて

取扱説明書にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は
お買い上げの販売店にお問い合わせください。
保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は
お買い上げの販売店にお問い合わせください。
修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● **保証書について**
保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたします
ので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

● **弊社製品の技術的なお問い合わせ先について**
お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。
お問い合わせ先
アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313 (フリーダイヤル)
◆ 携帯電話・公衆電話からのご利用は、
06-6792-4949 (通話料がかかります)
受付 (平日 9:00～17:00)
電子メール: support_center@icom.co.jp
アイコムホームページ: https://www.icom.co.jp/

防塵/防水性能維持の定期点検と保守

本製品は、IP67を保証している無線機です。保証期間については、保証書をご覧ください。この防水性能を維持するためにも、保証期間経過後は定期点検(年1回)の実施をおすすめします。
また、防水保証の延長なども含んだ保守サービス(有料)を準備しております。
定期点検や保守サービスの詳細については、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

安全上のご注意

- ◎ 使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- ◎ 次の「△危険」、「△警告」、「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
△警告	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
△注意	これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

免責事項について

地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
人命救助などを目的とした通信に本製品を使用し、通信の途絶、故障や誤作動、電池の消耗などにより、人命に関わる事態が生じても、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ 共通(無線機本体/バッテリーパック/充電器)

△ 危険

- ◎ 引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ 次の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱、液もれ、感電、けが、故障の原因になります。
 - 充電器に指定以外のACアダプターを接続しないでください。
 - 指定以外のバッテリーパックを充電しないでください。
 - 指定以外の充電器を使用しないでください。

△ 警告

- ◎ 分解、改造しないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
- ◎ 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。
- ◎ **赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。**
感電、けがの原因になります。
- ◎ **電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください。**
破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- ◎ 次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
 - ケーブルの上に乗ったり、重いものを載せたりしないでください。
 - ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。

△ 注意

- ◎ 直射日光の当たる場所や空調機器の吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。
- ◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
- ◎ ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
- ◎ ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。
- ◎ -20℃～+60℃以外の環境では使用しないでください。
記載の温度範囲以外でのご使用は、故障の原因になることがあります。

■ 無線機本体

△ 警告

- ◎ アンテナやハンドストラップを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでください。
本人や他人に当たって、けがや故障、および破損の原因になります。
- ◎ アンテナを接続しないで送信したり、送信しながらアンテナを接続したりしないでください。
感電、故障の原因になります。
- ◎ 大きな音量でヘッドホンやイヤホンなどを使用しないでください。
大きな音を連続して聞くと、耳に障害を与える原因になります。

- ◎ 電子機器の近く(特に医療機器のある病院内)では絶対に使用しないでください。
電波障害により電子機器が誤動作、故障する原因になりますので、電源を切ってください。
- ◎ 民間航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、これらの関連施設周辺では絶対に使用しないでください。
交通の安全や無線局の運用などに支障をきたす原因になります。運用が必要な場合は、使用する区域の管理者から許可が得られるまで電源を入れないでください。

△ 注意

- ◎ アンテナを折り曲げたり、ねじったりしないでください。
変形や破損の原因になることがあります。
- ◎ 針金などの細い棒でマイクやスピーカーの穴に触れないでください。
故障の原因になることがあります。
- ◎ 付属品、および指定の別売品以外は使用しないでください。
故障の原因になることがあります。
- ◎ テレビやラジオの近くで送信しないでください。
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。

■ 充電器

△ 警告

- ◎ 次の事項を守らないと、火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。
 - 充電器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。また、水にぬれたときは、使用しないでください。
 - ぬれた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。
 - 充電器の充電端子接点部に金属類を差し込まないでください。
 - 電源ケーブルや接続ケーブルに傷がある、またはACコンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。

△ 注意

- ◎ 次の事項を守らないと、火災、液もれ、発熱、感電、故障の原因になることがあります。
 - 10℃～40℃以外の環境で充電しないでください。
 - 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所に置かないでください。
 - 電源ケーブルを抜き差しするときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。
 - 充電後や充電しないときは、ACアダプターを抜いてください。

■ バッテリーパック

△ 危険

- ◎ 次の事項を守らないと、破裂、発火や火災、発熱や発煙、液もれ、感電、やけどの原因になります。
 - バッテリーパックの端子にハンダ付けをしないでください。
 - バッテリーパックの端子間を針金などの金属類で接続しないでください。
 - 金属類(針金、ネックレス、鍵など)や導電性のあるものをバッテリーパックの上に放置したり、バッテリーパックといっしょに持ち運んだりしないでください。
 - バッテリーパックは、単体で水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。
 - バッテリーパックからもれ出した液が目に入ったときは、こすらないでください。失明のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流したあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- ◎ 火やストーブのそば、車内や炎天下など、高温になる場所での使用、充電、放置はしないでください。
バッテリーパックの性能や寿命が低下、保護装置が動作して充電できなくなったり、保護装置が破損したりして、破裂、発煙、発火や火災、液もれ、やけどの原因になります。
- ◎ 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
バッテリーパック内部のガスに引火して、破裂や火災などの原因になります。
- ◎ コンクリートなどのかたい床に落としたり、強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
外観上、ひび割れや破損がない場合でも、内部で破損している場合があり、その状態で使用をつけると、破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

△ 警告

- ◎ 使用中や充電中に、いつもより発熱するなど異常と感じたときは、使用を中止してください。
使用をつけると、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれ、故障の原因になります。
- ◎ 指定の充電時間以上、充電しないでください。
指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、ただちに充電を中止してください。破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- ◎ 満充電後、すぐに再充電を繰り返さないでください。
過充電になり、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれの原因になります。
- ◎ バッテリーパックからもれ出した液が皮膚や衣服に付着したときは、放置しないでください。
皮膚に障害を与えるおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- ◎ テープを巻きつけたり、加工したりしないでください。
バッテリーパック内部からガスが発生することがあり、破裂、発熱、液もれの原因になります。
- ◎ バッテリーパックは、ぬれた状態で無線機や充電器に装着しないでください。
無線機や充電器の電源端子接点部に水や海水が付着して、故障の原因になります。

△ 注意

- ◎ 次の事項を守らないと、破裂、発熱、液もれ、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。
 - バッテリーパックを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。
長期間バッテリーパックを保管する場合は、満充電のあと、 (残量あり)の状態を表示するまで使用して、無線機から取りはずし、下記の温度範囲で湿気の少ない場所に保管してください。
約1ヵ月: -20～+50℃ 約3ヵ月: -20～+40℃
約1年: -20～+20℃
 - 寒い戸外や冷えたままで充電しないでください。
 - 無線機を使用しないときは、必ず電源を切ってください。

バッテリーパックの特性と寿命

- ◎ バッテリーパックは消耗品です。充電できる回数は、300回～500回が目安です。
充電状況を定期的に確認してください。いつもより発熱しているなどバッテリーパックに異常があると思われたときは、使用を中止してください。
- ◎ 発火や火災の原因になることがありますので、劣化したバッテリーパックは使用しないでください。
- ◎ 使用せずに保管しているだけでも、劣化が進行します。
- ◎ 劣化がはじまると、充電が完了しても運用時間が短くなります。
- ◎ 充電が完了しても、運用時間が極端に短くなったときは寿命です。無線機の性能を十分活用するため、長くて5年以内の交換をおすすめします。

バッテリーパックの膨らみ

このような環境や条件で使用をつけると、バッテリーパックの性質や特性により、内部が劣化し膨張することがあります。

- ◎ ひんばんに充電している
- ◎ 満充電直後でも再充電している
- ◎ 高温な場所で使用・保管している
- ◎ 本書で説明する充電方法と異なる

バッテリーパックが膨張した場合は、劣化に伴う寿命ですので、新しいものと交換してください。

使用後はリサイクルへ



Li-ion

この製品は充電式電池使用機器です。
希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。
充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人 JBRCのホームページでご確認ください。
JBRCホームページ <https://www.jbrc.com/>

バッテリーケースについて

単3形アルカリ乾電池専用のバッテリーケース(別売品:BP-312)をご使用になる場合は、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

電磁ノイズ

以下に示すようなインバーター回路内蔵の電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

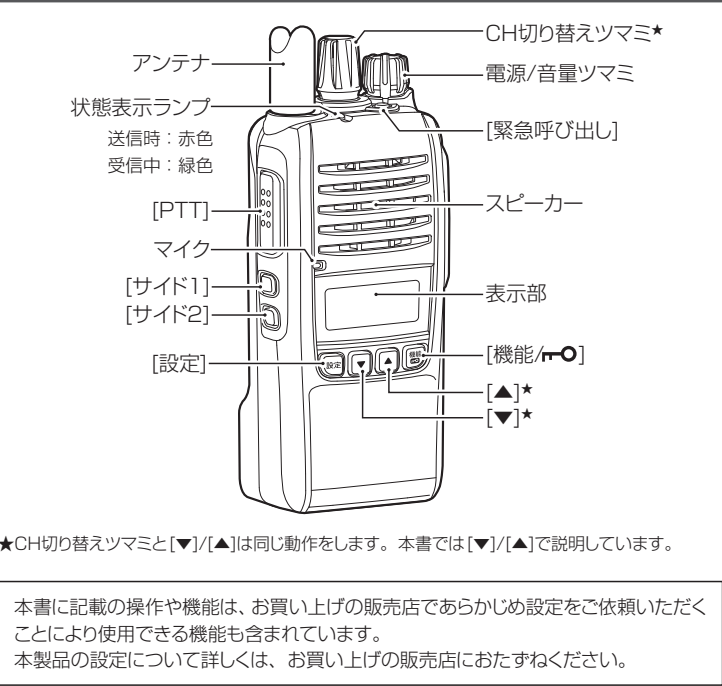
インバーター回路内蔵のおもな電子機器

◎LED照明器具 ◎電磁調理器 ◎給湯器
◎自動車に搭載された電子機器 ◎太陽光発電装置

電波法上のご注意

- ◎ 本製品は、電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。
分解や改造をしないでください。
- ◎ 免許状に記載されている範囲内で通信してください。
- ◎ 他局の通信を妨害することや、通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かく禁じられています。
- ◎ 免許の有効期間は、免許取得日から数えて5年間です。再免許の申請は、有効期間満了の6ヵ月前から3ヵ月前のあいだに手続きをしてください。
- ◎ 使用できるのは、日本国内に限られています。

各部の名称



■ 表示部

	CHO1 選択時
①	受信電波の強さ(4段階)を表示 無* 弱 中 強 ★待受状態、または受信した電波の強さが著しく弱いときに表示されます。
②	L 送信出力が1Wに設定されているとき
③	R 送信禁止が設定されているとき
④	Bluetooth機能が「ON」のとき
⑤	秘話機能が「ON」のとき
⑥	点滅: 通話相手から個別呼び出し、またはポケットビープ機能が「OFF」以外で、ユーザーコードによる呼び出しを受けたとき 点灯: ポケットビープ機能が「OFF」以外で個別呼び出し機能、またはユーザーコード機能が「ON」のとき
⑦	SUB サブチャンネルPTT機能が設定されているとき VOX VOX機能が「OFF」以外のとき
⑧	ロック機能が「ON」のとき AT 自動チャンネル切替機能が設定されているとき
⑨	電池残量の目安(4段階)を表示 十分、残量あり、残量少(早めに充電)、残量なし(要充電)
⑩	音量、通話チャンネル、ユーザーコード、秘話キー、設定モードなどを表示

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
[A]	[B]	[C]	[D]	[E]	[F]	[G]	[H]	[I]	[J]	[K]	[L]	[M]
N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
[N]	[O]	[P]	[Q]	[R]	[S]	[T]	[U]	[V]	[W]	[X]	[Y]	[Z]
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0			
[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[0]			
+	-	&	↔	ドット	スペース							
[+]	[-]	[&]	[↔]	[ドット]	[スペース]							

操作方法[基本編]

- 電源を入れる**
電源/音量ツマミを時計方向に回します。
 - 状態表示ランプが点灯し、ビープ音が鳴ります。
 - ※防塵/防水対応により、ツマミは簡単に回らない構造になっています。
 - ※音量が最小のときは、操作音(ビープ音)や受信した音声などは聞こえません。
- メモリーチャンネルをあわせる**
[▼]/[▲]を押して、相手と同じメモリーチャンネルに合わせます。
※同じメモリーチャンネルを設定する相手と通話できます。
- 呼び出しをする(送信する)**
相手と同じメモリーチャンネルに合わせてから、他局が通信していないこと(状態表示ランプ: 消灯)を確認後、[PTT]を押しながら、マイクに向かって呼びかけます。
- 呼び出しを受ける(受信する)**
信号を受信すると、状態表示ランプが緑色に点灯して、受信している電波の強さ(目安)が4段階で表示されます。
- 通話をつづける**
応答するときは、待受状態(状態表示ランプ: 消灯)になってから、[PTT]を押します。
※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、互いの会話がスムーズになります。

メモリーチャンネルについて
メモリーチャンネルごとに、周波数などがあらかじめ設定されています。
設定変更は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

ロック機能
[機能/]を長く(約1秒)押すと、「ビピッ」と鳴って、「」が点灯します。
※同じ操作をすると、ロックを解除できます。
※ロックされない操作は、ロック機能の解除、送信/受信、モニター機能のON/OFF、電源の入/切です。
※キーロック中の音量調整を有効にするには、設定モード、または販売店で設定の変更が必要です。
※緊急呼び出し機能が設定されている場合、キーロック中でも緊急呼び出しの操作ができます。

操作方法[応用編]

ご利用になる目的に応じて、下記の機能をご使用ください。
※各機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ ユーザーコード (初期設定: OFF)
複数の通話相手と同じユーザーコード(UC)を設定するだけで、簡易的な通話グループが構成できます。メモリーチャンネルとユーザーコードが一致したすべての相手と通話できます。
※秘話機能や個別呼び出し機能と併用できます。

1. [機能/]を短く押して、「UC-OFF」表示(初期設定)に切り替えます。
2. [▼]/[▲]を押して、相手と同じユーザーコードを設定します。

■ 秘話機能 (初期設定: OFF)
秘話機能を設定すると、ほかの相手に通話内容が傍受されるのを防止できます。
※メモリーチャンネルと秘話コードが一致したすべての相手と通話できます。

■ 個別呼び出し (初期設定: OFF)
詳細な設定をすることで、「全体呼び出し」、「個別呼び出し」、「グループ呼び出し」ができます。
※詳しくは、弊社ホームページに掲載の取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。

■ サブチャンネルPTT機能 (初期設定: OFF)
[サイド1]、[サイド2]にサブチャンネルを割り当てることで、最大3チャンネル間で送受信ができる機能です。
◎メインチャンネルに加えて、[サイド1]、[サイド2]に割り当てたチャンネルで送受信できます。(例: [PTT] CHO1、[サイド1] CHO2、[サイド2] CHO3)
◎割り当てたチャンネルを定期的に監視(スキャン)します。
※サブチャンネルPTT機能設定時、設定できない機能や[サイド1]、[サイド2]に割り当てできない機能があります。

設定モードによる機能設定

- 設定モードに移行するときは**
- 本製品の電源を切ります。
 - [機能/]を押しながら、電源/音量ツマミを回して、電源を入れます。
 - 「ビッ」と鳴って、「MODE CHG」が表示されます。
 - [機能/]から手をはなしたら、すぐに[機能/]を短く押します。
 - 「ビピッ」と鳴って、「SET MODE」のあと、設定項目が表示されていれば、設定モードに移行しています。
 - ※「MODE CHG」が表示されなかったときは、電源を切り、操作をやり直してください。



- 設定内容を変更するときは**
- [機能/]、または[設定]を押して、設定項目を選択します。
 - [▼]/[▲]を押して、設定を変更します。
※ほかの機能も変更するときは、手順1と2の操作を繰り返します。
 - [PTT]を押すと、設定が確定されて、運用できる状態になります。
※別売品を接続しているときは、その製品の[PTT]を押します。
※設定変更後に電源を切った場合でも、設定が確定されます。
※設定モードを解除するまで通話できません。



設定モードで変更できる設定について

送信出力(PWR)	: 送信出力の切り替え
ロック動作(LCK)	: ロック機能動作中の音量調整
外部電源(EXTV)	: 別売品への電源供給設定
使用バッテリー(BAT)	: 無線機で使用する電池の種類を設定
サブCH(SUB)	: メインチャンネルに加えて、[サイド1]、および[サイド2]にサブチャンネルを割り当てるサブチャンネルPTT機能
Bluetooth(BT)	: Bluetoothヘッドセットと本製品のBluetooth接続(ペアリング)

※販売店での設定により、変更できる項目が上記と異なる場合があります。

付属品

- | | |
|-------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ アンテナ | ☐ ハンドストラップ |
| ☐ 保証書 | ☐ ご使用になる前に(本書) |

■ アンテナ/ハンドストラップの取り付け

別売品

本製品を便利にお使いいただくため、別売品をご用意しています。
※別売品については、弊社ホームページ <https://www.icom.co.jp/> をご覧ください。

■ ベルトクリップの取り付け
バッテリーパック単体の状態で、ベルトクリップを着脱してください。

■ バッテリーパックの取り付けと取りはずし

本体の電源を切った状態で、バッテリーパックを着脱してください。

△注意
しばらく使用しないときは、バッテリーパックを本製品から必ず取りはずしてください。
本製品の電源を切った状態でも、常に微量の電流が流れていますので、電池が消耗する原因になることがあります。

■ 充電時間と運用時間の目安

	パワーセーブ	ON	OFF
運用時間	送信出力	1W	約25時間
		5W	約16.5時間
充電時間(BC-213使用時)		約4時間	

条件: BP-280を使用して、送信5、受信5、待ち受け90の割合で繰り返し運用

※Bluetooth 機能をONにして使用する場合は、運用時間が短くなります。
※ご使用になる充電器によって、運用時間や充電時間が異なります。
※バッテリーパックの残量がない状態で充電した場合の時間です。

■ 充電のしかた

お買い上げいただいたときや2ヵ月以上使用しなかったときは、必ず充電してから、ご使用ください。

△危険
◎ 充電するときは、必ず本製品に対応した充電器(弊社ホームページに掲載)をご使用ください。
◎ 「安全上のご注意」(表面)を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

■ スピーカーマイクロホンなどの接続

スピーカーマイクロホンやヘッドセットなどを接続するときは、無線機の電源を切ってから、図のように保護カバーを取りはずし、別売品のコネクターを接続してください。
※防水性能の維持と端子保護のため、別売品を接続しないときは、保護カバーを取り付けてご使用ください。